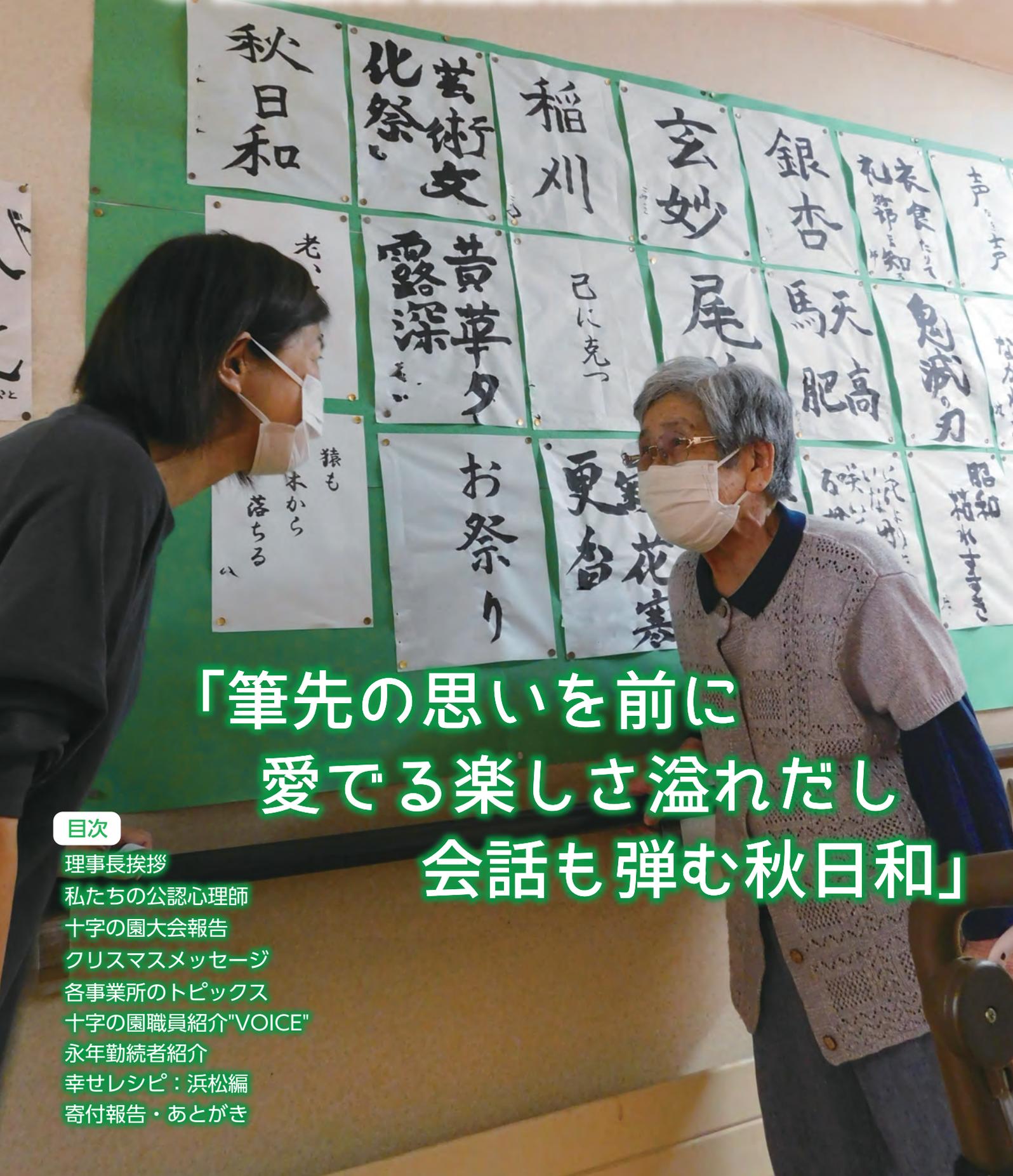


# ぶどうの木



わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。ヨハネによる福音書15章5節より



## 「筆先の思いを前に 愛でる楽しさ溢れだし 会話も弾む秋日和」

### 目次

理事長挨拶

私たちの公認心理師

十字の園大会報告

クリスマスメッセージ

各事業所のトピックス

十字の園職員紹介"VOICE"

永年勤続者紹介

幸せレシピ：浜松編

寄付報告・あとがき



ごく小さな事に忠実な者は、  
大きな事にも忠実である。  
ごく小さな事に不忠実な者は、  
大きな事にも不忠実である。

ルカによる福音書 16章10節

Suzuki Atsushi

## 理事長 鈴木 淳司

今年度から、施設や事業所が一体となり全職員がご利用者を見守る意識を持った空間づくりのために、ユマニチュードケアを広く知って頂く取り組みを始めました。なぜかと言えば、ユマニチュードには、ご利用者を大切に思っている事を伝えるためのやり方が、具体的に誰にでもできるように分かりやすくまとめられているので、多くの職員の皆さんが実践しやすいものだと考えたからです。

ユマニチュードケアは、認知症の方への方法と捉えられている事があります。確かに紹介されている内容は認知症の方を通して説明されていますが、ユマニチュードは思いを伝えあい良い関係を築く事が中心なので、職員同士でも有効な手段です。

ユマニチュードケアの考えを取り入れる事は、新しい事なので、何をやれば良いのか？と疑問に思うと思います。しかし、最初に書いた目的を果たすためなので、ユマニチュードケアができるようにする事が目的ではありません。

例えば、机を拭きましょうと言われて、机を拭いたら良いのではない事と同じように、目的は何かと

考えて行う必要があります。この机を拭く事で言えば、相手のために清潔を保つ事や、相手に気持ち良く食事してもらおうためと言った事が考えられます。正しいやり方に着目し過ぎると、目的が見えなくなる事があります。目的を果たすためには、主体性を発揮して、目的を常に意識し、目的を果たした時の喜びや嬉しさを味わう事が大切です。

また、人は新しい考えを受け入れる時に一括りにしてしまう事があります。例えば〇〇世代や〇〇系等の言葉がそれです。これは、人の思考が効率的に物事を捉える特徴があるからと言われています。〇〇障がいだからだよなや、認知症だからだよなと一括りに語られる時には、効率性が優先され、個別性や本質が見えなくなる弊害に気をつける必要があります。

つまり、物事を一括りにしないで、個別にイメージをし、目的を持って机を拭いた時に、相手に伝わる喜びがあるように、小さな事も主体的に行くと喜びに気づきやすく、平凡な日常が常に意味のある楽しいものになると思います。

# 私たちの 公認心理師

Our Licensed Psychologist

公認心理師・看護師の白石みどりと申します。『株式会社スノーム』という働く方のメンタルヘルスをサポートする会社を立ち上げ、公認心理師としてカウンセリングだけでなく、ストレスチェックのデータ分析やそれに基づいた研修や講和、管理者へのアドバイザーとしての役割を担っています。

公認心理師という資格そのものが聞きなじみがないと思いますが、2017年から施行された出来立てほやほやの日本では初めての国家資格の心理職です。

白石自身は、元々17年間は看護師として病院で勤務をしていました。その領域は、ほとんどが救命救急から急性期病棟勤務で、心臓・脳・呼吸の生命の岐路に関わる仕事を主にしてきました。

命に係わる仕事には、働くメンバーにもそれ相応の負担がかかります。救命では、昨日元気だった人が事故や事件、病気の急性発症で急に命を落とす場面です。ご家族の一番の辛い場面を体験する仕事で、自分の一挙手一行動にその人の命や人生が掛かっていると、ゆっくりと眠れなくなったり、イライラが取れなくなったりして、人間関係にもトラブルが起きやすく、気持ちが不安定になったりしていきます。

介護現場でも同じような心の動きがみられます。高齢の方の“終の棲家”としての役割を担い、命の最期を共にする人生の大変な部分を利用者と共にす



## 株式会社スノーム

Shiraiishi Midori

## 公認心理師・看護師 白石みどり氏

る大変なお仕事だからです。

介護現場で働く方は、ご自宅でも親の介護があり、仕事でも介護という方も、プライベートで様々な事情を抱えながら働いている方も、本当に多くいらっしゃいます。

そんな中で、コロナ禍になり介護現場から離れる人が多く、介護員の不足は日本全国の課題となっています。人も少ない中、シフトも思うように組めず、日々の時間や気持ちの余裕がなくなると、自分の気持ちがコントロールできなくなることがあります。そんなときは友人や家族にも話ができなくなったり、職場でうまく関われなくなることもあります。とても孤独になりがちですが、しかし、それはあなただけの問題ではなく、多くの人が悩む問題です。そんな時には、スノームの相談の仕組みを利用してみてください。

今は、電話相談（予約制）もありますので、ご都合の良いときに気軽に話をお伺いすることができます。お気軽に声を掛けてください。



面談は、各施設会議室など身近な場所で行っています。



ストレスチェック受検の様子

## 機関誌 ふどうの木について

ヨハネによる福音書 15章に、「わたしはぶどうの木、あなたがたはその枝である。もし人がわたしにつながっており、またわたしがその人とつながっていれば、その人は実を豊かに結ぶようになる。わたしから離れては、あなたがたは何一つできないからである」とあります。ぶどうの木のたとえ話は、神様と私たちのつながりを表しております。神様との結びつきの中で、皆様と一緒に多くの実を結ぶことを喜びたい、その様な思いから機関誌名を「ぶどうの木」としました。

無事終息!

# 新型コロナウイルス

# 感染症

6月16日(水)~  
7月21日(水)

35日間の  
闘い!!



## 発生から終息まで

6月16日障がい者支援施設オリブの入居者2名の新型コロナウイルス感染症が判明した。

残りの入居者20名と短期利用中の入所者2名、日中利用の生活介護利用者3名及びオリブ関係職員14名が保健所の指示のもとPCR検査を行い、職員1名が陽性であった。

その後も検査を継続する中で入居者3名、職員1名の合計7名の陽性となりクラスターに認定された。感染経路は不明で、オリブ関係職員は濃厚接触者として保健所から自宅等で待機を命じられ、およそ2週間出勤停止。入居者の生活を守るため、特養、訪問介護以外の事業を休止や一部中止とした。応援で入った不慣れな職員は、特効薬の無い感染症に恐れながらもオリブの入居者のお世話に奮闘した。

徐々に落ち着きを取り戻しながら36日後の7月22日に全事業所の再開を果たした。クラスターとしては短い期間で終息することができたのは、医師を始め職員の感染対策、そして行政や地域の皆様のお陰である。そして陽性となった方々の命に別状がなく元の生活にもどることができたのは何よりの幸いである。



事務主任  
鈴木 清彦

## 先が見えない不安

必要物品の確保、ゴミの廃棄、外部とのやり取り、レッドゾーンに入る職員の勤務、その職員の宿泊先や食事、職員のメンタル。早急に対処しなければならぬ事が一気に押し寄せました。誰もが初めての経験。普段の業務とは全く違ったそれらの業務の一部をお伝えしたいと思います。

中でもレッドゾーンに入る職員の宿泊先の確保に苦労しました。施設内では個室が用意出来ず、松崎町に協力を要請したところ、町が運営するホテルを職員に1室ずつ用意して下さいました。しばらくの期間、帰宅出来ない職員の精神面の事を考えると、快適な宿泊先を用意して下さいました松崎町の対応には本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

またホテルに宿泊している職員の食事や応援者の飲食は毎日の事で確保に苦慮しましたが、松崎町の社会福祉協議会や地域のボランティア、お弁当屋さんや飲食店さん、そして職員家族が美味しい食事を届けて下さいました。

同業者や地域の方たちからもたくさんの支援を頂きました。こうした様々な方々の支えによって先の見えない不安に明かりを見つけられたと思います。

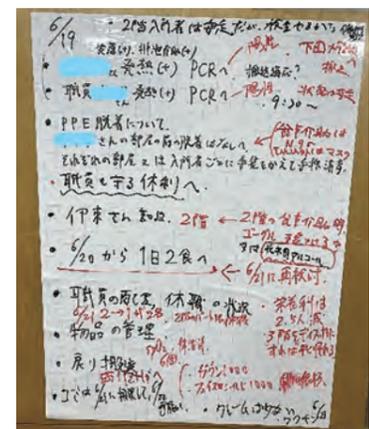


看護主任  
島倉 とよみ

## 利用者を守る!

入院における病院への移送やサマリー作成、家族には謝罪や健康状態の報告、医師とは毎日健康状態の報告や連絡、感染対策の指示、保健所とは入院した入居者の状況報告やPPE(個人用防護具)を装着してお世話に入った職員の定期的な唾液検査の提出や健康状態の報告。ガウンやマスク、フェイスシールド、アルコール消毒液の物品の補充や管理等。それらを終息まで自宅に帰らず、町が用意してくれた宿泊施設や施設内で寝泊まりして行いました。

また、レッドゾーンに支援に入った職員の中には入所施設の介護経験が乏しい者がいたり、個人用防護具の脱着方法やゾーニングに戸惑う人もいました。感染に対する基本やレッドゾーンに入ることによって自身が濃厚接触者と同様に扱われ生活が制限されることなど、事前に理解できていない(十分な説明がされていない)ことを感じました。県感染症対策委員の倉井華子医師からゾーニングの指導を受けたことや、嘱託医が今年2月に他施設でクラスターを経験されており多くのアドバイスをいただけ、毎朝夕のミーティングにも参加して積極的に関わって下さりました。また、施設全体のワクチン接種も行うことができました。協力病院の存在はとてども頼もしく、ボランティアの方々との協力がなければ終息は難しかったこと。今回を振り返り、協力する大切さの意味を改めて感じたこと。自分が大変だったのではなく、施設で働く職員やその家族、サービスを利用している方など、多くの人たちの日常が変わってしまったことは大変だったと感じます。ただ、今回は職員が一丸となって乗り越えられたと思います。でも、2度と経験はしたくないです。



オリブ主任  
山本 貴一

## 恐怖との闘い

始まりは15日早朝の利用者1名の熱発からでした。16日の受診結果の一報を受けるまでは、誰もが世間で騒がれている感染の恐怖など少しも想像していませんでした。

「自分たちも感染しているのでは?」という恐怖を持ちながら今、現場で何が出来るか?(様々なことが頭の中をグルグル回っていました)初動として陽性者が戻る前に、居室を換気、消毒後、隔離(個室に変更)し、ゾーニング、個人防護具(PPE)の設置を済ませて受け入れ態勢を整えました。

その日の夜勤は2名体制(通常は1名だが、陽性者、陰性者別々に対応)に変更。翌日からはオリブ介護職員全員出勤停止となる為、他部署の職員による勤務をシンプルな2交代制としました。日勤者を4名1班の12時間勤務(7時~19時で2班体制、夜勤は2名1班で12時間勤務(19時~7時)の2班体制とし、他部署(休止部署)の職員に担ってもらいました。目に見えないウイルスとの戦い、6月の蒸し暑い気候に加え、PPEを全身に付け汗だくになり、慣れない部署での勤務は想像以上に大変であったと思います。一日は短く、一週間が長いと言うのが共通の実感でした。勤務中は感染の心配をしている暇はありませんが、新たな陽性者が出た瞬間と定期的唾液検査の結果が出る日は、誰もが頭の中で「もしかして自分も…」と感染の恐怖に怯える日々でした。

長期対応を見越し、人的、物的問題も考慮し、利用者対応を維持する為に食事を2食提供にさせて頂きました。その結果、食事に追われる時間が減り個々の訴えに対応できる様になりました。

現場内でのポイントとしては、感染エリア(レッドゾーン)に入る職員はPPEをつけ一度入ると清潔エリア(グリーンゾーン)へはすぐ出られない為、外にいるグリーンゾーンの職員が、レッドゾーン内の職員が働きやすい様に連携しサポートをする事が重要でした。

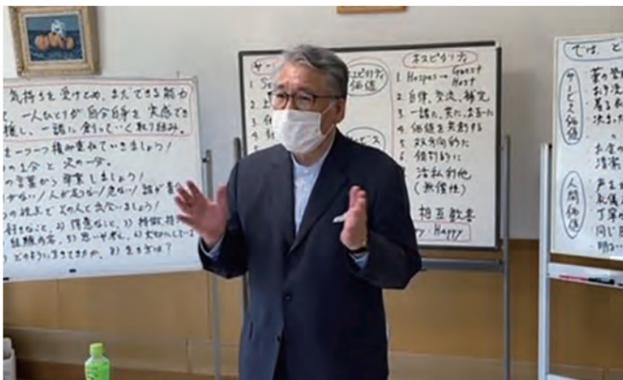
様々な皆様のご支援とご協力により、この状況下でオリブに入った職員から一人の感染者も出さず終息を迎えることが出来たのはまさに奇跡でした。



# 2021年度十字の園大会/大会報告 担当：御殿場

**主題** 「創立の精神から新たな福祉に挑戦(チャレンジ) ～すでに据えられている土台の上に～」

**テーマ** 「ホスピタリティの中に見る私たちの喜び」



御殿場での収録時の吉原先生

昨年の十字の園大会は新型コロナ感染拡大の影響を受け、やむを得ず中止の判断となりましたが、今年度感染の終息が見られない状況の中、何とか開催をと悩んだ末、感染流行に左右されないオンライン形式にて2021年10月22日(金) 十字の園大会が今までと違う新しい形で開催されました。

「ホスピタリティの中に見る私たちの喜び」は昨年からの長い期間、温めてきたテーマです。今回基調講演講師である吉原先生は限られた時間と空間の中で熱く語って下さいました。

各施設からも画面を越えて素晴らしい発表がなされました。



司会進行の  
橋本委員長と諏訪さん

## ～基調講演より一部紹介～

### ホスピタリティマネジメントが介護を変える～サービス偏重の介護から活私利他の介護～

介護とは、高齢者の気持ちを受けとめ、まだできる事に目を向け、1人1人が自分自身を実感できるように応援し、一緒に創っていく取り組み

#### ●3つの提案 三つの数字 1・4・8

1分を1つ1つ積み重ねていきましょう！  
最初の1分・次の1分

4つの言葉から卒業しましょう。

きりがいい・人が足りない・危ない・誰が責任・

8つの視点でその人と出会しましょう

- 1)好きな事 2)得意な事 3)特徴持ち味
- 4)経験内容 5)思いや考え 6)大切にしている
- 7)どのように生きてきたか 8)生き方は？

#### ●ホスピタリティマネジメントの根幹 3つの価値

ホスピタリティ価値・サービス価値・人間価値

ホスピタリティを日本語で活私利他と表しています。自分の能力を発揮して介護を届ける時、いつかは定まっていなかった幸せのギフトが加えてくる。そしてお互いに喜び合い、そしてHAPPY・HAPPY(相互歓喜)の関係になる。

## ～基調講演・発表を通して～

吉原先生の講演を聞き、今まで十字の園で大切にしてきた職員、利用者の区別なく食卓を囲み時間を過ごし、許しあい、皆が互いに喜び合える関係を創ってきたことを、今一度再確認することが出来ました。



大学でこれからの学生が介護の仕事に希望をもって目指せるようにと奮闘されている先生は、オンラインの壁を超えて目をキラキラ輝かせて十字の園職員へ話して下さい、皆心が動かされました。各施設の発表はまさに今回の大会にふさわしいもので、コロナ禍での各施設の素晴らしいホスピタリティが共有され、喜びが増幅する時となりました。 御殿場 高木

## ◆各施設発表テーマ・サブテーマ(発表順) 各12分目安

浜松	テーマ	利用者の思いを形に
	サブテーマ	利用者の願いを叶えるチームケア
アドナイ館	テーマ	ホスピタリティの中に見る私たちの喜び
	サブテーマ	わたしたちの喜び
第2アドナイ館	テーマ	笑顔と感謝
	サブテーマ	制限のある中でも工夫して笑顔を
御殿場	テーマ	利用者の言葉と笑顔から、 自分たちの喜びと介護という仕事
	サブテーマ	利用者さん同士の別れから心の 安心と喜びを得るまで
伊豆高原	テーマ	ホスピタリティの中に見る私たちの喜び
	サブテーマ	コロナ禍での気づき ～オンライン面会とカフェの取り組み～
松崎	テーマ	日常の中に溢れる笑顔
	サブテーマ	利用者の方の happinessの実現の為に
伊東養護	テーマ	養護老人ホームが抱える問題。
	サブテーマ	精神疾患のある入居者とどう向き合うか ～ハッピー・ハッピー～



開会あいさつを  
される鈴木理事長



開会礼拝司式される  
小林隆史牧師



御殿場本会場の様子

# クリスマスメッセージ



クリスマスの時期になりますと、あちこちが光の装飾に彩られます。イエス様の誕生日が12月25日だとは聖書のどこにも書いていないのに、この時期にクリスマスをお祝いするのはなぜでしょう？はっきりしたことはわかりませんが、冬至の日以降、昼の時間がどんどん長くなるので、昔の人々がその時期を「光の誕生日」と考えたからだ、などと言われていいます。あらゆる意味で「光の誕生」は「希望の誕生」です。とりわけ全ての人の罪の赦しと、永遠の命の希望となるため、まことの光として生まれてくださったイエス様の誕生を、この時期に喜び祝うのはとても自然な事だと言えます。



イエス様が現れるまでは、すべての人が神様を信じることが出来ない罪を背負い、死すべき者「罪びと」となっていました。その罪びとの身代わりとなって十字架で死ぬために、神の子であるイエス様が人として生まれてくださいました。神が人となって生まれてくださった驚くべき出来事をクリスマスは私たちに教えてくれています。

不思議なことです。神の子であるイエス様が身代わりとなってくださったおかげで、私たち死すべき人間が、永遠の命に生きる神の子とされました。この出来事を本当の意味で信じて、実際にこの世で生きていくのが、キリストを信じる信仰(キリスト教)なのです。



御殿場十字の園  
クリスマス礼拝の様子

本当の希望を見出すことが困難な時代です。「メリークリスマス。クリスマスおめでとう」の言葉を聞くとき、あなたにまことの光であり、希望であるイエス様との出会いが、喜びと共に与えられますようお祈りしております。



日本基督教団  
御殿場教会牧師 小林 隆史

養護

伊東市立養護老人ホーム



皆で沢山の花を作りました。

今日も楽しく過ごしています。  
 いろいろ不便になってしまって、中々自由にできないけれど、私たちは私たちに、楽しみ・生きがい・面白いもの、をみつけ、明るく、前向きに日々を送っています。



毎日一生懸命お世話しました。

我ながら良い出来栄え。

行事のご飯はいつもより楽しい。



皆でお洒落してみました。



真剣、一発勝負。

ショートステイ

御殿場

御殿場十字の園ショートステイ ~只今貼り絵が私たちのブームです~

実はここにある絵はなんと、みんな貼り絵なんです。ショートの利用者さんと一緒に作りました。自慢の作品の一部を紹介します！



切って張ってを繰り返し、立派な貼り絵が完成！！  
 ♪他にもいろいろやっています♪

普段の様子



みんなでのんびりドラマ鑑賞中



みんなで体操。頭上げて～。



コロナが早く終息するようお願い込めて、利用者さんと一緒に作成しました。

サービス

浜松

みをつくしサテライトのんき

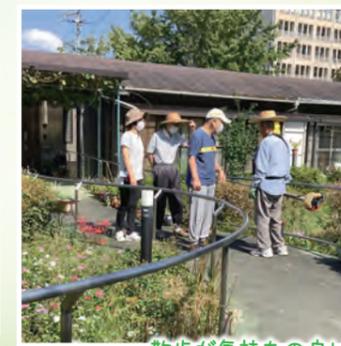
のんきは、今年の8月に認知症対応型通所介護からサービスセンターみをつくしのサテライト事業になりました。

みをつくしと一緒にすることでパワーアップ！  
 ゆったり、のんびり、家庭的な雰囲気はそのまま、今まで以上に笑顔あふれる場を作っていきます。

形は悪いけどおいしいぶどうが採れました！



生け花はのんきの定番レクです



散歩が気持ちの良い季節になりました

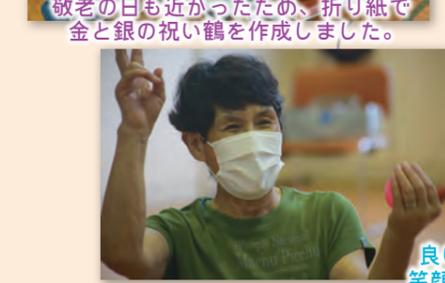


その他事業

伊豆高原



敬老の日も近かったため、折り紙で金と銀の祝い鶴を作成しました。



良い笑顔♪



熱海市で発生した土石流災害に際し、国際NGO非営利活動法人オペレーション・ブレッシング・ジャパンより依頼を受け、8月から9月にかけて“健康体操教室”を開催しました。



タオルを使ったコーディネーショントレーニング

被災後の生活環境の変化により、運動機能・認知機能の低下や閉じこもりが懸念されます。健康体操をおこなう事で心身ともにリフレッシュ！活動を通して交流することで、健康づくりだけではなく、仲間づくり、地域づくりに繋がります。参加された皆さんも笑顔で楽しんでいただけました。



ゲーム感覚でボール回しをおこないました

写真提供 OBJ

職員紹介 STAFF INTRODUCTION  
**VOICE**  
 Introduce the face of the staff

ケアの根拠が自分本位でなく  
 利用者本位であるかを考え、  
 支援内容を決めています。

- Q 十字の園に就職しようと思った理由は？**  
 元伊豆高原十字の園施設長の森茂廣さんに憧れて、無理を言って入れていただきました。
- Q 現在の部署ではどんな仕事をしていますか？**  
 主任兼介護職員です。チームをまとめ、入居者の生活支援を行っています。
- Q 仕事をする上で大切にしていることは何ですか？**  
 ケアの根拠を持つこと。根拠が自分本位でなく利用者本位であるかを考え、支援内容を決めています。
- Q 十字の園で働いてみて感じたことは？**  
 パイオニアとしてのプライドがあり、誇り高い法人と感じています。
- Q 休日の過ごし方は？**  
 昼寝をしたり、テレビを観たり、基本怠け者です。



**KEISYU TSURUMI**  
 STAFF File.06

つるみ けいしゅう  
**鶴見圭秀**  
 平成17年3月1日入社（勤続16年）  
 ケアハウス 第2アドナイ館 主任

好きなこと：空手、家族と過ごすこと  
 嫌いなこと：数学、細かい作業  
 趣味：伝統空手、カブトムシの飼育



空手で精神統一

**永年勤続者表彰**  
 Long-term service Awards

永年勤続  
 おめでとうございます。

御殿場十字の園 35年 松田 みどり	御殿場十字の園 30年 小宮山 純	浜松十字の園 30年 渥美 智子	伊豆高原十字の園 30年 重永 仁美	
浜松十字の園 25年 寺田 幸子	浜松十字の園 25年 森島 信幸	御殿場十字の園 25年 杉山 潔	御殿場十字の園 25年 高田 米子	第2アドナイ館 25年 大橋 ひろみ
第2アドナイ館 20年 倉田 真樹	第2アドナイ館 20年 伊藤 三郎	松崎十字の園 20年 小川 秀幸	伊東養護老人ホーム 20年 稲葉 雅一	御殿場十字の園 20年 大西 由佳利
御殿場十字の園 20年 小野 真樹	御殿場十字の園 20年 藤曲 孝子	伊豆高原十字の園 20年 西島 一恵	アドナイ館 20年 小杉 佳弘	法人本部 20年 山本 隆弘

**勤続15年**

横林 直明 浜松十字の園	前田 理沙 御殿場十字の園	横山 美津子 御殿場十字の園
小野 巳津子 松崎十字の園	室伏 千鶴 御殿場十字の園	永原 克世 伊東市立養護老人ホーム
大川 浩美 松崎十字の園	渡邊 弘子 御殿場十字の園	小川 晃 伊豆高原十字の園
岩下 史美 御殿場十字の園	今井 幸子 御殿場十字の園	和田 明子 アドナイ館

**勤続10年**

森 直美 浜松十字の園	勝又 英樹 御殿場十字の園	渡辺 実穂子 伊豆高原十字の園
中村 豊司朗 浜松十字の園	長浜 親光 御殿場十字の園	遠藤 裕俊 伊豆高原十字の園
島野 真理子 浜松十字の園	山下 佳代子 伊豆高原十字の園	石橋 茉奈香 伊豆高原十字の園
澤木 若奈 浜松十字の園	古屋 ひとみ 伊豆高原十字の園	松嶋 博文 伊豆高原十字の園
外岡 彩 松崎十字の園	鈴木 唯 伊豆高原十字の園	庵原 優子 第2アドナイ館
濱本 和子 伊東市立養護老人ホーム	鈴木 秀一 伊豆高原十字の園	村松 孝枝 第2アドナイ館
貫洞 祥子 伊東市立養護老人ホーム	大隅 麻代 伊豆高原十字の園	伊藤 直美 第2アドナイ館
土屋 彩葉 御殿場十字の園	大沼 沙也加 伊豆高原十字の園	



幸せレシピ

浜松編

目玉メニュー  
「ミートローフ」

形や中の具材を変えることで、いろいろな楽しみ方ができる料理です。お好みの型に入れたり、中に茹で卵を入れて焼くなど、アレンジしてみてください。

アドナイ館管理栄養士/奥村敦司



【作り方】

- 1 たまねぎはみじん切りにする。ミックスベジタブルは茹でて、荒熱を取っておく。
- 2 パン粉と牛乳、卵を混ぜ合わせる。
- 3 豚肉と食塩、こしょう、①、②をよく混ぜ合わせる。この時混ぜ合わせが不十分だと崩れやすくなってしまいます。
- 4 型にオーブンシートを敷き③を隙間なく入れる。又は、パットなどにオーブンシートを敷き、細長い台形に成形する。
- 5 180℃に余熱したオーブンで20分ほど焼く。
- 6 ケチャップとウスターソースをまぜソースにする。
- 7 焼きあがったら、一人分にカットしソースをかけて完成

**POINT** 豚肉と食塩・こしょうで少し粘りが出るまで混ぜてから、具材を混ぜ合わせると美味しく仕上がります。

おすすめレシピ  
Vol.4

ミートローフ  
【材料：5人分】

FOODSTUFF	
豚ひき肉	250g
たまねぎ	150g
ミックスベジタブル (なければグリーンピースなど)	100g
パン粉	20g
卵	40g
牛乳	25g
食塩	少々
こしょう	少々
ソース	
ケチャップ	25g
ウスターソース	25g
サラダ油	分量外

ミートローフ調理過程



コロナ禍での法人階層別研修

法人研修委員 岩本佑太

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、昨年度は中止とした法人階層別研修を、今年度はZoomによるオンライン方式で開催することとなり、スムーズな研修開催に向け、法人研修委員会ではWeb会議や接続テストを重ねるなど準備をしてきました。

7月9日に開催した中堅職員研修Ⅱには各施設より16名の職員が参加。アイスブレイクでは「あっち向いてホイ」を行い、少々戸惑いながらもZoomに慣れるところから研修をスタートしました。

法人研修の目的の一つに、職員間の交流があります。通常の集合研修では同じ空間に集まることで、

横のつながりが広がり、お互いに刺激を受け、モチベーションの向上が期待できますが、それらをオンライン研修でどこまで得ることができるか、それには「参加型研修」として、①進んで発言すること、②人の話によく耳を傾けること、③時間を意識することが大切になります。研修に参加した職員はこれらを意識しながら、グループワークで積極的に意見交換されていました。



あとがき

この「ぶどうの木」の内容を話し合う法人広報委員会もZOOMを用いたオンラインでの話し合いが定着しつつあります。毎回皆で頭を抱えながらも楽しく話し合っています。ですから発行された「ぶどうの木」を見るのは嬉しさでいっぱいになります。

第52号の特徴はコロナクラスター対応報告や初のオンラインでの十字の園大会の報告など、この時代を映し出す誌面です。何年か先にこれを読んで「こんな時もあったねえ。大変だったよねえ。」と皆で笑い合える時が来る事を待ち望みたいと思います。

これからも引き続き良い誌面作りに励み、機関紙を通して、理念の継承・理念を大切にしたい利用者への関わりを内外へ共有していきたいと思しますので、ぜひ手に取って読んでいただけたら幸いです。(たかぎ)

表紙写真の説明

伊東市立養護老人ホームでは、月に1回お習字の会を行っています。昔やっていた方も、やっていなかった方も、半紙と向き合う表情はいつになく真剣そのもの。作品は毎回掲示されますが、書く内容は特に決められていないので、毎月様々な作品を見ることができ、これを楽しみにしている方も多くいらっしゃいます。

ご寄付のお願い

皆様の温かいご支援をお待ちしております!!  
〒431-1304 静岡県浜松市北区細江町中川7220-11  
社会福祉法人 十字の園  
理事長 鈴木淳司  
振込口座 静岡銀行細江支店 普通 0015345